

# 移行工程・スケジュールについての 検討の視点(案)

---

2017年4月6日  
総務省  
総合通信基盤局

## 「サービス移行」関係

- 本委員会では、利用者のサービス利用に直結し、利用者への直接の影響が及ぶ「サービス移行」を中心に据えて検討・整理することとしてはどうか。
- NTTは、加入電話・INSネットからメタルIP電話への移行について、①「2024年初頭に一齐に契約を移行」、②「サービス終了時期の2年程度前に契約移行についてお知らせを実施」、③「複数回の書面によるお知らせを行った上で、(解約の申し出がない限り)IP網移行の時点でメタルIP電話に自動移行」との考えを示しているが、
  - ・ 「加入電話・INSネットからメタルIP電話への移行」に伴い、利用者への料金その他の提供条件に変更があるのか。変更がある場合、利用者にも不利益となる変更があるのか、契約上はどのような取り扱いになるのか(変更契約、新規契約等)、利用者の意思確認や利用者への説明対応等の方法はどのように考えるのか。移行を希望しない利用者に対する解約の取り扱いはどのように行うのか。
  - ・ 「2024年初頭」「一齐に契約を移行」との契約移行時期・方法及び「サービス終了時期の2年程度前」との案内開始時期は、利用者保護の観点から問題はないか。
  - ・ 「解約の申し出がない限り自動移行」との契約方法は、利用者の意思表示との関係において問題はないか。自動移行に係る利用者への説明対応等の方法はどのように考えているのか。契約約款ではどのように整理されるのか。
- サービス切替を「2024年初頭」に行うに当たり、NTT以外の事業者及び当該事業者のサービス利用者において課題となる事項はあるか。
- NTTは、IP網への移行に合わせて提供終了するサービスについて、2017年秋頃にサービス終了時期を確定・公表する考えを示しているが、「2017年秋頃」との時期は、利用者保護の観点から妥当か。
- 上記を踏まえ、円滑な移行の実現に向けて、行政として対応を検討すべき措置はあるか。
- その他検討すべき点はあるか。

## 「設備移行」関係

- 「設備移行」については、「サービス移行」との関連性や事業者間協議の状況を随時確認しながら、特に委員会で取り扱う必要のある事項について検討・整理することとしてはどうか。
- NTTは、これまで中継交換機・信号交換機等の維持限界及びIP網への移行完了の時期を「2025年頃」としていたが、今般、「2025年初頭」といったより具体的な時期を示している。
  - (1) 「中継交換機・信号交換機等の維持限界」を「2025年初頭」に迎えるとしているが、「維持限界」とは具体的に何を指しているのか。
  - (2) 「2025年初頭」との時期及び理由付けは妥当か(物理的な制約で中継交換機等の維持が困難となる時期と、サービス提供のために設備移行を完了しなければならない時期との関係は妥当か)。
- 移行工程を3つ(①②③)に分けている理由及びその設定期間は妥当か。
- 今後設備移行に関する事業者間協議が進むこととなるが、協議や準備状況により、今回示されたサービス切替時期(2024年初頭)といった利用者に影響するスケジュールに変更を及ぼす事態が生じることは避けるべきではないか。設備移行の工程のうち、サービス移行の時期に影響を及ぼす可能性があるとして現時点で想定しているものはあるか。
- 上記を踏まえ、円滑な移行の実現に向けて、行政として対応を検討すべき措置はあるか。
- その他検討すべき点はあるか。